

令和元年度 第1回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

令和元年 11月 26日 調製

1 日 時	令和元年 10月 18日 (金) 午後 2時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林、広野、中嶋、熊谷、相田、山澤、清水の各委員
4 欠席委員	高波、泉、山田、川上の各委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	片野商工課長、五十嵐主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	三条新聞社
9 議事内容	(1) 正副会長の互選について (2) 令和元年度事業計画に対する実施状況について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
事務局	<p>これより令和元年度第1回勤労青少年ホーム運営審議会を開会いたします。</p> <p>この審議会は、勤労青少年ホームの運営、事業内容等、基本的な事項についてご審議ご意見を賜りながら、利用者のためにより良い勤労青少年ホームづくりを目指すものでございます。</p> <p>審議会規則では、会議は会長が議長を務めることになっておりますが、会長・副会長が不在ですので、会長が選任されるまでの間、事務局で議事を進めたいと思います。</p> <p>本日の会議の出席者は7名、欠席者は4名でございます。</p> <p>はじめに三条市勤労青少年ホームの館長、佐藤春男がご挨拶を申し上げます。</p>
佐藤館長	<p>ご存じのように6年前より新潟県労働者福祉協議会というところが三条市より勤労青少年ホームの指定管理という形で運営に当たらせていただいている施設でございます。そして皆様から基本的な運営について年2回会議を実施しており、ソレイユの運営に関して貴重なご審議を賜っておる次第です。このソレイユもとりわけ歴史があつて、もちろん昭和・平成・令和と青少年の取り巻く環境が様変わりしております。青少年全体そのものの人口も減少しておりますが、とりわけ青少年の皆さんが5時からすぐ退社をして余暇を楽しむという環境が難しい中、一部では地域の皆様からも世代を問わずこのソレイユに親しんでいただいている。そういうことも含めて新しい形の勤労青少年</p>

	<p>年ホームソレイユの運営を事務局を中心として、皆様から提案いただいたものをより良い施設ということで今後も進めていきたい。</p> <p>きょうはぜひ忌憚のないご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
事務局	<p>それでは選任後、最初の運営審議会でもありますので、委員の皆様と事務局の自己紹介をお願ひしたいと思ひます。</p>
各委員 事務局	<p>自己紹介 自己紹介</p>
片野商工課長	<p>市役所商工課の片野と申します。この勤労青少年ホームはご案内のとおり新潟県労働者福祉協議会の皆様から指定管理ということで、施設の管理運営をしていただいて私どもは委託をしている立場でございます。この運営審議会もソレイユの適切かつ効果的な運営ということで皆様方から忌憚のないご意見をいただきつつ、様々な事業を取り組んでいくところであります。今回多くの委員さんが変わられたということもございまして、それぞれの立場から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。</p> <p>きょうもこの後、令和元年度の事業計画と実施状況を説明させていただきますが、ぜひ積極的なご意見を頂戴してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。</p>
事務局	<p>会長の選任についてお諮りします。</p> <p>ご意見がなければ指名させていただきます。</p> <p>協同組合三条工業会から選出されている小林委員にお願ひしたいと思ひます。(拍手)</p> <p>では小林会長が選任されましたので、以降の進行は会長にお任せします。</p>
小林会長	<p>ただいまこの審議会の会長に選任いただきました小林です。よろしくお願ひします。</p> <p>引き続き副会長の選任ですが、昨年に引き続き広野委員にお願ひしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。(拍手)</p> <p>ありがとうございます。では広野委員よろしくお願ひします。</p> <p>それでは議題に沿って(2)の令和元年度の事業実施報告になりますが、佐藤事務長からひととおり説明いただきますが、皆さん一つ二つご意見なりご質問なりを一言ずついただきますので、聞きながら確認したいことなどあったら質問事項など意識しながら佐藤事務長のお話を伺っていただけたらと思ひます。それではお願ひします。</p>

佐藤事務長	初めての方も何人かいらっしゃいますので、それぞれの項目について少し丁寧に説明を申し上げます。 令和元年度の事業計画及び実施状況報告について説明。
小林会長	はい。ありがとうございました。これから皆さんからご質問ご感想などを1人一つ二つぐらいずつ聞いていきたいと思っておりますけれども、早速、中嶋委員からお願いします。
中嶋委員	参加者数が増えたとか減ったとかはこれからになりますか。事業実施報告の中で9月末現在は載っていますが、前年比較で伸びているかどうか知りたい。
佐藤事務長	年度末で前年度比較はいたしますが、年度途中では今まで比較はしてなかったです。
小林会長	今回は無しでいいですが、ここで議論するうえでやっぱりあった方が考えやすいと思うので、来年の半期のレビュー時も比較数値を出していただければと思います。
佐藤事務長	わかりました。9月末現在でも来年の資料には比較を載せるようにいたします。
中嶋委員	アンケートの分析というところで、まだまだ若者への周知不足は否めないと書いてありますが、感想めいた話になりますが、私は労働相談所におりまして、労働相談所もなかなか認知度が上がってこないのので労働基準監督署やハローワークのように有名ではないので、利用者はあっても口コミで広がるというものでもないの、広報には力を入れているつもりですが、労働相談所とは状況が違いソレイユ三条は口コミで広がっていくと思うのですが、広報の状況などをお知らせいただけるとありがたいです。
小林会長	なかなか悩ましいところだと思いますが。
佐藤館長	先ほど事務長から説明させていただいたように、啓発活動は、皆さんからいろんなアイデアを頂いて、ここに記載のFacebook、Instagramあるいはツイッター、それから事務長を中心に出席でアピールをして周知そのものは従来以上にずっとやってきているのですが、周知と中嶋委員のおっしゃられた認知がなかなか結びつかない。周知を3倍やったからといっても認知度・利用度に繋がってこない、数字に出てこないというのが難しいところです。
清水委員	いま認知度の話題になったので一言。周りの若い人に聴いてみたのですが、ここに参加させていただいている方がいまして、登録した人が利用する施設ということですよ。登録していない友だちも一緒に

	連れてきたいけれども、友達は登録していないから連れて来られないということ saying it, so, registered people if anyone could bring me, I could attend a system like that would be good, I thought.
佐藤事務長	全然かまわないです。
清水委員	若い人たちはそれを知らないのです。
小林会長	本当にそれが理由で来ないかはわかりませんよね。
清水委員	あと体験日みたいのを設けてありますよね。でも、いつでも来られるような気軽さがあればいいですよね。
小林会長	いつでも来られるのですよね。
佐藤事務長	そうです。いつでも体験は可能です。料金の発生もないし登録しなくても1回は講座の体験をすることができます。
清水委員	それを友達と一緒にということが出来ますか。
佐藤事務長	それは全然かまわないです。
清水委員	だからそれを知らないということが問題かなと思います。 あと、名前は知っているけれどどんなことをやっているか全然知らないという方もいました。 ラジオとか他にもいろいろやっていますが、印象に残らないと意味がないと思うので、もう少し工夫がいるのではないかなと思います。ラジオを聴いているけれども知らなかったというケースがあって、認知度って何年も前から課題のような気がしますので、そんな広報をしなければならぬ、そんな人を増やさなければならぬのでしょうか。現在受講している人たちが十分満足していればいいのではないかなと思います。
相田委員	受講者としては、満足している講座となると定員数がいっぱいになってしまっているの、キャンセル待ちになっているし、かと言って日程が合わないとか興味がないという講座だと利用者数が少なくなっていると、通っている人数を見ていけばわかると思います。あとは広報ですね。SNSとか今盛んにやっていますけど、私も登録させていただいて Facebook など見っていますが、登録しているだけでは増えていきませんよ。結局登録した人がその記事をシェアして友人に広めていかないことには、せっかくいいことをやっても情報が伝わっていかないの、協力委員会でも今度はシェアを呼びかけて興味ある人を増やしていくのがいいと思います。どうしても自分に興味がないことはいくら広報活動、啓発活動やっても目に留まら

	<p>ないものなのです。だから常に情報を提供して自分の友人知人に興味を持っている人にお知らせしてあげれば、参加してくれると思います。</p> <p>今までは、青少年対象で35歳までを利用者として募集していたと思っていましたが、今年あたりからどなたでもということで、私も子どもと一緒に英会話を受講させていただいております。そのほかにネイティブ英会話には中学生の女の子もいます。ただ、この施設はどなたでもということを知らないのではないのでしょうか。勤労青少年ということで年齢制限があると思っていますので、そういうことをもう少し表に出していけば利用者も増えると思います。</p>
小林会長	どなたでもということを表に出していいのですよね。
佐藤事務長	はい。全然構いませんが、前回もこの話で、繰り返しになりますが、広報担当からは「どなたでも」という文言は入れられないということで、市民には固定観念があって、あそこは35歳未満でなければ使えないんじゃないかという方がけっこういらっしゃるのではないかと思います。そこで市の広報はどうしようもないので、その他の周知関係の中でどなたでもOKという記述はしているつもりです。
小林会長	誰がだめだと言っていますか。
佐藤事務長	市の広報担当です。
商工課長	市の広報ということは市の方針ということになるのだと思います。
小林会長	原稿を出してみるとそちらからクレームが来るのでしょうか。
佐藤事務長	クレームではなく、削除されてきます。
商工課長	編集の段階で削除されてきます。
相田委員	なぜ、どなたでもという表記がだめなんですか。
佐藤事務長	広報担当に言わせると、年齢制限や対象が限られる場合のみ表記するが、どなたでもというのは載せる情報ではないという考え方。
相田委員	ここばかりではなく例えば他のところが掲載をお願いしたとしてもどなたでもという削除されるということですか。
広野副会長	掲載上の問題で、広報さんじょうのほうでわざわざどなたでもという書く必要がないからで削除ということなんですよ。当たり前のことだからということで。
小林会長	でもここに関しては、勝手に35歳以下と考える人がいるから、あえてどなたでもと記載するのは別に違和感のあるものではないと思います。

広野副会長	見方とすれば、例えば以前は35歳以下だったですよ。何年から変わったんですか。
佐藤事務長	3年くらい前から35歳にこだわらずに年齢制限は取っ払いましょうという意見が出てからです。
広野副会長	3年前からどなたでも入れますよという書き方は可能なんですか。
小林会長	もう一回書いてみたらいいんじゃないですか。消して来たらこの審議会です。そういう議論があったということ伝えて。こういう問題提起する場だと思いますので。まあ、現実的に利用者の半数以上が35歳以上の訳ですからね。
佐藤事務長	最初に登録してもらったときに、用紙の下にアンケートが付いていて、その中で何を見て知りましたかという設問がありまして、広報さんじょうを見てというのが一番多くて、次にホームページという順になっています。
小林会長	図らずも2人の発言は年齢の制限について、我々の認知と相当ギャップがあるような感じがあるので、そこはぜひチャレンジしてみたいと思います。
相田委員	私は加茂の方にも友達がいて、加茂市にも勤労青少年ホームがありますが、加茂市は定額を払うと他の講座でも受講し放題なんだそうです。そういうのはいかがでしょうか。そこに開講している講座は何でもやっていいというシステムになっています。
小林会長	それをしたときに何か問題がありますか。
佐藤事務長	講師の方の準備が必要になります。
相田委員	もちろん、事前に登録はしていると思います。ただいくつ受講しても同じ料金ということです。
小林会長	それはいくらで。
相田委員	2,000円くらいだと思います。詳しくは知りません。その代り冬期間は加茂の勤労青少年ホームはお休みになるそうです。雪がない時に開講するという事です。
佐藤館長	一定額でいくつも受講できるということですか。
小林会長	現状だと3,000円が一番高い受講料になるので、その二つ分か、三つ分くらいになるでしょうけど、実際にそれを申込みされる人がいるかどうか分からないですけど。
相田委員	その方が利用しやすいかもしれないと思っています。
佐藤事務長	ただ、料理とか生け花のように講座の人たちの受講料で先生方が用意するわけです。その受講料がいくら入るといって先生の方で

	<p>予算を組むわけですが、材料などを取りそろえる準備の段階で、その2,000円をどう振り分けるのか見えてこないのが非常に不思議なシステムだと感じています。</p>
清水委員	<p>受講生側からするとすごくお得な話だと思います。</p>
佐藤事務長	<p>講師は大変だと思います。準備をするのにお金をいくらもらえるのかはっきりしないと。</p>
小林会長	<p>一回チャレンジしてみて、全部が全部料理みたいにお金がかかるわけではないですしね。</p>
佐藤事務長	<p>一つには私どもでやっている講座一日体験イベントがありますが、5年前から毎年3月に実施していますが、1,000円で三つの講座を体験できるというものですので、段々人気が出てきてかなりの人数が体験されています。</p>
清水委員	<p>実際問題として複数の講座を受講されている方はいらっしゃいますか。</p>
佐藤事務長	<p>いらっしゃいます。それぞれのところで受講料を払って受講しています。</p>
佐藤館長	<p>ただ、今加茂のお話をお聞きしたので、私どもも情報を取りながら講師からすると難しい面はあると思いますが、そういうアイデアをいただいたので、なんとかという気持ちはありますが。</p>
小林会長	<p>もちろん、できる講座とできない講座はあると思います。難しいのは除外して、この中からフリーですよとかやってもらえればいいと思います。</p>
相田委員	<p>他の勤労青少年ホームと情報の取り合いをしていただいて。</p>
佐藤館長	<p>事務長が話したように、それぞれの講師は受講料の中からやりくりしているわけですので、その辺も正直難しい部分があります。いただいたお金をどう按分してやっていくのか、それはそれで難しい面があります。ただアイデアとして加茂ですので何かしら情報を取りながら検討したいと思います。</p>
清水委員	<p>私のところに来ている若い子ですが、講座に初心者という冠があるのですが、実際は初心者ではなかった。コースは初心者なんですけどベテランの方も入っていて初心者の内容ではなかったという講座だったという話を耳にしました。</p> <p>具体的にはテニスですが、ベテランばかりで入り込めないと言いますか、そういう感じだったと。</p>
小林会長	<p>初心者と謳っていきながら行ってみたらベテランばかりで自分が下手だと思ったということですか。</p>

佐藤事務長	全然問題ないです。初心者には初心者なりに教えています。
小林会長	今の話は初心者からするとベテランは来るなということですか。
清水委員	そうではなくて、初心者レベルで教えてもらえればいいのですが、ベテランの方もいらっしゃるから初心者という指導ではなくてレベルが高かったという声があったということです。
佐藤事務長	初心者という看板を掲げている以上は初心者のメニューで行っていますので、ベテランの方からすると物足りないと思っけていても我慢してもらっていて、あくまでも初心者を対象とした内容にしているつもりです。
小林会長	どうもそういう声も出せずにフェードアウトされた方がいらっしゃったようです。
山澤委員	先ほどの資料の説明を伺って、年末年始しか休館日がないにもかかわらず、これだけ盛りだくさんのことをやられている職員の方の苦労も大変だなあと思いました。それと先ほどのお話に出ていました、登録者数というのに違和感があって、登録しないと利用できないと思ってしまう施設だと感じました。 資料とは離れますが、先ほど入ってくる時に入口階段のブロックが壊れていました。そこの修繕等はどうなっているのでしょうか。
佐藤事務長	まず、登録についてですが、登録しないと入れないということではなくて、希望する講座に入って初めて登録をするというシステムですので、入ってみて今後通いますという意思表示があって初めて登録をしてもらうということになります。
山澤委員	先ほど加茂の施設の話をしていましたけど、私は白根で運動の講座に入っていたことがありまして、そのコースはやはり半年間コースで、その時単発でも受け入れるというコースです。料理みたいに材料が必要なものは仕方がないですが、運動靴一つあればできるというものは1回だけ料金を払えば割高なんですけど、行きたい日に行けるというメリットがあります。そこで登録というと二の足を踏むんですが、気軽に行きたい時に行けるようなものがあったらいいのではないかと思います。
小林会長	登録によってハードルが上がってしまうということでしょうか。
佐藤事務長	そうですね。利用する側からすればきょうは空いているから行ってみようかというのもあったらいいかもしれないですけど、ただ利用するにしても講師の都合もあるのですが、定員が決まっていますので、20人定員のところ40人来られたらアウトです。
小林会長	そういうのは来たら考えたらいいのではないですか。

	<p>実績を見れば常に定員の半分くらいしか埋まってないですもの。</p> <p>確かに受講者は定員に達していても、実際に来ているのは人気のある講座で7割くらいでしょ。であれば3割はスポットで受け入れられたのではないかと。せっかくのご意見なので、できないことはないのではないかと思います。できるコースには働きかけもありなのかなと思います。</p>
相田委員	<p>なかなか定員に満たない講座はオープンにしていいいかもしれませんね。いつでも受け入れますよという期間があってもいいのではないかと思います。一回の無料体験ではなくて、数回いつでもお試し対応があってもいいのではないかと思います。</p>
小林会長	<p>まさに先ほど清水委員がおっしゃった友達を連れて来ようと思っても登録していないから連れて来られないような正にそういうイメージでしょうか。</p>
佐藤事務長	<p>友だちを連れて参加というのは登録関係なく規則的にはいつでもOKなのですが、1回だけ無料で体験できますよということでも連れて来てくださいなのですが、現在のところ問い合わせがあって初めて知るという状況です。</p>
小林会長	<p>そのルールは周知されていない。</p>
佐藤館長	<p>そこの部分でしょうか。手続き上講座に参加するということは登録というのは必要なことだと思いますが、今のお話だとこの会館そのものに特定の登録がないと来られないという受け止めかたをされている方が多くて、無料体験だとかは入口の部分で、その辺の認識だとか私どもの周知方法だと思いますので、きょう三条新聞社さんも来られていますので、なんらかポイントを押さえてお願いできればと思います。</p>
小林会長	<p>最初のハードルをとにかく下げていかないといけませんよね。</p>
佐藤館長	<p>利用する段階での登録という話をさせてもらっていますが、一般の方の感覚では会館はそうしないと入れないんだということでしょうか。</p>
小林会長	<p>ただでさえ引っ込んでますからねえ。</p>
佐藤事務長	<p>登録については広報では一言も謳ってないです。</p>
小林会長	<p>この会ではそこは皆さんハードルがあるようなご意見ですから。広報でいつでも無料体験できますということを書いていただければ周知されるのではないかと思います。</p>
佐藤事務長	<p>いきなりポンと来て受け入れられるかどうか講師の方と相談したいと思います。材料が必要な講座は難しいにしても運動系の講座であれば講師の了解さえ得られれば大丈夫かなと考えています。</p>

熊谷委員	SNSを工夫してやっているということですが、どんな反応があるか、また、分析等されていれば教えてください。
佐藤事務長	インスタは今年からやっていますが108、ツイッターが142という現在の結果です。
熊谷委員	それは想定した数とどうですか。
佐藤事務長	このことに関して委員会の中でも積極的に見て、見たら何らかのアクションをしてねという話はしていますが、全部確認したわけではないですが、スマホを使いこなしている方は少ないように感じています。
小林会長	せめて1,000くらい登録してくれていればいいですけどね。地道にやっていくしかないですね。
広野副会長	6ページの登録者数で、人数で20歳未満の人数が、人口比が高くて少ないということは20歳未満という人口がかなり少ないということでしょうか。
佐藤事務長	学生は対象者から除いていますので、人口比に比べて少なくなっています。
小林会長	三高生が勉強でちょくちょくロビーを使っているのは入ってないですか。
佐藤事務長	登録とは関係なく登録者数にはカウントしていませんが、15ページのロビーや多目的ホールを開放している欄にフリーで使用している人数には入っています。
相田委員	人数のカウントはどうやってしているのですか。
佐藤事務長	窓口で記入してもらっています。
広野副会長	6ページのお楽しみサロンというのがありますが、講座との違いは具体的にはなんですか。
佐藤事務長	講座は、こちらから講師をお願いして月の受講料を決めて募集してやってもらっていますし、お楽しみサロンは、月の受講料はありません。ふらっと来てみてもらってもいいですし、実際に何かを作った場合は実費がかかりますというのがお楽しみサロンです。ですから誰が何人来るかかわからないという状況です。
広野副会長	逆に言うと初めて来ても参加できるということですか。
佐藤事務長	そうです。
広野副会長	その中に人気のあったものを講座に持って行くとかという話はあるのですか。
佐藤事務長	今の段階では講座にシフトしていくということは考えていません。
小林会長	むしろそのゆるさがいいのかも知れないですね。

広野副会長	逆に言うと先ほどの話ではないですが、ハードルが低いということで参加しやすくて増えていくといいのかなと思います。もう一点なんですが、PRに関してですが、無料感謝デーというのがありますけれど、誰が来てもしろいろもらえるようなやつですか。
佐藤事務長	喫茶の無料感謝デーのことだと思いますが、誰でも日頃利用してもらっている感謝の気持ちを込めて、コーヒーあるいは紅茶とプラス一品、季節によって異なりますが、例えば笹団子であったり、ケーキであったりセットを無料で提供していて、その日はいっぱいになります。喫茶で用意した数は全部出ます。
相田委員	その感謝デーにいらっしゃるお客様の年齢層はどんなですか。
佐藤事務長	昼間ということから年齢層は高いです。どなたでもいいのですが、平日の昼間ということもありまして年齢層は高くなっています。
相田委員	それを、若者層をターゲットにしたような感謝デーというものはできないでしょうか。
佐藤事務長	そうすると夜になりますか。
小林会長	ソレイユ祭なんかはどちらかというとターゲットなんですかね。
広野副会長	何故そう言ったかということ、例えばですが年1回ボンと大きなことをやるよりは、細かく夜の時間帯に月一ぐらいのイベントにして若い人も来られるような仕掛けをしてもいいのかなと思います。先ほどのSNSに情報を出しておいて無料券をつけてそれを見せたら喜んでもらいに来る人が中にはいらっしゃるかも知れないと思います。 最近流行っていますよね。なかなか費用面で難しいところもあるかと思いますが、そういう意見もあったということで考えていただければありがたいです。
小林会長	物で釣りますか。
広野副会長	ていうか、来てもらうのが目的なので、とりあえず敷居を下げることから始めて、そこからいろんな情報を見ていただく機会を作るというのはどうかなと思いました。
佐藤事務長	この無料感謝デーとは違いますが、今年行った講座一日体験イベントで1,000円のチケットを購入した方には無料で喫茶のケーキセットを差し上げますというプレゼント企画を今回初めて行いました。
小林会長	SNSに登録してもらうためのエサという意味ですよ。
広野副会長	若い人がけっこうそういうのに興味を持っていて、クーポンなどそれだけ持ってコンビニに行ったりする光景を目にするのでどうかなと思ったものです。今どうこうではないですが、一つの提案です。

小林会長	先ほど山澤委員からのブロックが壊れている件について回答をお願いします。
佐藤事務長	失礼しました。ブロックの修理については、私が道具を買ってきて、天候や仕事の都合を見ながらやっているのですが、なかなかできずに申し訳ありません。
小林会長	では、次回の委員会の頃には直っているだろうと期待しています。
佐藤事務長	業者に頼むという方法もありますが、今年に入って蛍光灯がバタバタとダメになり見てもらおうとわかると思いますが、この部屋だけでも5カ所LEDに変えています。そんなことから修繕費が嵩み、ほかに手が回らない状態です。
佐藤館長	<p>ここだけではないんでしょうけど、出来て25年ほどになります、その割には、タイルばかりではなく外構と言いますか基礎的なものもたぶん地盤の関係だと思うんですけど、築年数の割にはかなり老朽というか基礎の部分で不具合があります。それでも事務長が話されたLED化を含めて指定管理じゃなくて、本来市の責任で計画的にやっていたいかなければならない大規模な修繕だと思いますので、市にお願いしているものはお願いしているわけですが、とは言っても市にも予算があるわけで、その予算付けの中で緊急度に応じた優先順位があると思います。担当の商工課も片野課長を始め、きちんと動いていただいているわけですが、結果的に優先的にというのはなかなか難しい面がありますので、すべてという訳にはいかないところです。しかし、利用者の方から指摘をされるとか、とりわけ安全面で問題点のあるところは率先して直していかなければならないと認識していますので、ご指摘をいただいたところはそうだなと思います。</p> <p>職員で対応するものも含めてほんとにいろいろありますね。</p>
片野商工課長	<p>地盤の問題もあるかと思いますが、水害と地震があったことによる影響もあると思います。あと、言い尽くしていただいたのですが、今まさに予算の時期でもあるんですけど、各施設の要望を各課で整理したのち財政当局で優先順位で予算付けするわけですが、毎年現場の声として上げてもらって優先順位を相談しているところですが、なかなか思い通りには予算が付かないこともあります。ただ我々の目線は安全第一で優先順位が付いていきますけれど、確かにああそうかと思ったのは、ブロックとかは安全面とは違う意味で、施設を利用しようとしている、あるいは利用している方が見たときにイメージとしてテンションが下がるとか使う気にならなかったとかというような気持ち的に何かしら影響があるのだと、市民目線からすると安全さえよければ</p>

	何でもいいのかではなく、皆さんが気持ちよく使ってもらうためにはそんなところにも配慮しなければいけないと考えています。
佐藤館長	これから冬になると例えば消雪パイプの出だとか、そんなことでも利用者の方から苦情が来ていて、職員で除雪はしていますが対応しきれないケースもあります。
小林会長	ひととおり皆さんからご意見いただきました。 次に議題の（3）になりますが、事務局から何かありますか。
佐藤事務長	議題というわけではないですが、きょうお配りしたソレイユ祭のチラシがお手元にありますが、もし1時間でも30分でも時間があればどういふことをやっているか見ていただければと思います。告知でした。
小林会長	その他ソレイユに対してのご意見ご要望等がありますか。
清水委員	きょう会議に参加して職員の方がほんとにご苦労されているんだなとあらためて感じました。昔に比べると小学生から年配者まで幅広く対象になっているんだなとわかりました。そうすればますます敷居が低い方がいいのではないかと登録もそうですが、ネーミング、言葉の力を借りたらどうかと、思いました。例えばですが、6ページにお楽しみサロンがありますけど、先ほど佐藤事務長がおっしゃいましたが、ふらっと来てくださいと言うのだったら、ふらっとお楽しみサロンとか、このふらっとが付くだけで十分心に入って、来やすくなると思いますし、喫茶はニックネームとかありますか。
佐藤事務長	あります。喫茶アンアンという名称です。
清水委員	8ページのスマイルバレーとかはじめよう空手とかほんとうに入りやすいです。そういう風な心にしみやすい名前であれば入りやすいですし、世代間交流活動の推進はとても固いですし、何だかよくわからない。逆に裏切りの交流とか、表現を変えたら親しみやすくなって気持ちに浸透しやすくなるのではないかと感じましたので、一言感想です。
佐藤事務長	ネーミングについては年々変えているところがありまして、例えば講座ですが、楽しいは一般的ですが、やさしいとかわくわくとかつけて少しずつ変えています。
清水委員	少しずつだと変化がわからないのではないかと思います。あまり意味がないのではないか。
小林会長	正直、変化がわかるかわからないかというほど認知されているかどうかともわからないですからね。とにかくハードルをできるだけ下げつつということでしょうか。
中嶋委員	不勉強で恐縮ですが、この施設って駐車場は何台くらいありますか。

佐藤事務長	今現在 68 台分あります。
中嶋委員	そうするとソレイユ祭はどんなですか。車で来ないでくださいでしょうか。
佐藤事務長	臨時駐車場が地図にあります、市場の駐車場を借りておりまして、そこは大体 100 台くらい止められると思います。
小林会長	施設から少し遠いんですよね。しょうがないでしょうけどね。
中嶋委員	それから、サークル・サロンの利用者の人数が 16 ページに書かれています、これは喫茶を利用していない時に勉強したりすると 1 とカウントされるのでしょうか。高校生が勉強されている数。
佐藤事務長	それでしたら 15 ページの上の表になります。ロビーや多目的ホールですがふらっと来て自由に使っているという人数です。
小林会長	利用者は年々数としては増えているんですよ。
佐藤事務長	はい。曜日によってはなかなか駐車場がいっぱいの時もある、申し訳ないですが、これ以上増えると大変だなというのも悩みの種です。
佐藤館長	もちろん、裏にも脇にも駐車場があつて分散していますので、案内板はあるのですが、皆さん正面しかないと思われています。
佐藤事務長	裏も使って満杯状態になります。
小林会長	68 台も止められるイメージなかったです。これ以上増えると困る。
佐藤事務長	困るというより、どこへ止めればいいのか苦情が来ます。
佐藤館長	市内の公民館を考えてもそんなに多くあるところもないので。
小林会長	もっと困るようになったらそれを議題に話し合えるようになる、そんな審議会にしていけたらと思います。
片野商工課長	<p>タイミングが遅れてしまって申し訳ございません。冒頭のあいさつで忌憚のないご意見をと申し上げたところ、いろいろ新鮮な意見をいっぱい頂戴したなあと受け止めているわけです。</p> <p>そもそも周知・広報が足りないのではないから始まり、コースがいろいろあった方がいい、登録ではなくオープン参加とか、今の駐車場のこともしかりですけれども、要は知られ方が少ないために誤解があります。そこで内部で相談しなくてはいけないし、宣言するわけにはいかないですけれども、今やれることの一つとしては、事務長が冒頭説明したとおり、なぜここに登録したのか、アンケートで広報さんしようというのが一番多いということも踏まえて、広報は皆さんご存知のように月初めのとき毎回特集をしています。そこで 1 回ソレイユ三条を特集することで、例えば 4 面くらい紙面を使って、ご意見をいた</p>

	<p>だいたことも含めて整理をして、しっかり市民の皆さんに周知をするということが今できることの一つかなと、その中で宿題として検討しなければならぬ課題をいくつかいただいでいて、それを全部きれいに整えてから特集だといつになるかわからないので、少なくともちゃんと発信さえできれば少しの誤解についてはそうだったんだと理解してもらうために広報の特集は一つの手かなと考えられます。ただ確約はできませんが今やっていることを整理して作成することはそれほど難しいことではないと思います。広報担当の持っている見せ方のノウハウを含めて一緒になって検討してみたいなと考えています。</p>
小林会長	<p>すばらしい提案だと思います。 それでは事務局お願いします。</p>
佐藤事務長	<p>きょうの会議録については、後日会長及び館長で調整したうえで、ホームページにUPしたいと思いますので、よろしくをお願いします。 次回の審議会は2月末から3月にかけて議会の合間を縫う形で実施いたしますので、皆さん予定をお願いします。</p>
小林会長	<p>それでは長時間にわたりありがとうございました。以上で第一回の審議会を閉じたいと思います。皆様お疲れさまでした。</p>
	<p>閉会 午後3時45分</p>